

I+ [] 平成31年度入試 入試問題作問方針（一般入試 50分）

本校の入試問題は、公立高校の入試問題同様、中学の基礎基本を問うことを目的としています。教科書中心の確実な復習や都立高校の過去問題が本校の入試の対策になります。

英語

基本的な英語に関する読解力や、単語力、文法に関する知識など、中学3年間の学習内容をいかに理解しているかを見ることが出題のねらいです。長文読解問題では、650語程度の長文を出題し、会話問題も長めとなります。長文・会話問題と、文法問題では、長文・会話問題の比重が大きいです。リスニング問題では英検3級程度の対話文を出題します。また、昨年度同様に、図を見て内容を読み取る問題も出題します。

学習のポイント



難易度は教科書レベルです。基礎力をみる問題で、教科書の復習や都立高校の過去問題が対策をする上で参考になります。長文読解・図の問題では、内容を正確に理解する力や文脈を読み取る力を問います。会話文の問題では、話し手のやりとりの大切な部分を理解できているかどうかを問います。単語については繰り返し音読したり、書いたりして単語の知識を確実に身に付けてください。また、語法、文法問題は万遍なく学習しておく必要があります。リスニング問題の対策として日頃より英語を聞く習慣をつけ、内容を理解できるようにすることが大切です。

国語

基礎知識を問うものとして、漢字の書き取り・読みの問題（難易度は漢字検定4級程度）がそれぞれ3問ずつ。更に熟語の構成やことわざ・慣用句、文法などの問題が出題されます。また文章問題として、現代文では評論と小説の2題から内容理解や語句解釈、記述問題などを中心に標準レベルの問題が出題されます。古典では、主に歴史的仮名遣いや古語の意味、内容に関するものが問われます。

学習のポイント



難易度は教科書レベルで、基礎力をみる問題がほとんどです。本校の過去問題だけでなく、教科書内容の復習や都立高校の過去問題への取り組みも対策となります。国語は漢字と語句の理解が不可欠であり、漢字検定などへのチャレンジは国語力のアップにもつながります。また、教科書に出てくる文学史なども含め、国語知識にも取り組んでいきましょう。教科書の評論や小説をじっくりと読み、重要語句をおさえながら内容を理解しておくことも大切です。

数学

問題は大問5題です。①は独立小問形式で、数・式と方程式の計算、関数、図形、確率・資料の整理など基本的な計算問題と中学で習う一通りの基礎的知識を問う問題。難易度は、教科書や数検3級レベル。②以降は総合問題で関数、平面図形、空間図形、日常事象を数理的に考察し処理する文章題（文字式の利用）の4題を出題します。

学習のポイント



数・式の計算、因数分解や方程式の理解は、高校数学を進める上で欠かせない分野です。まず第一に、①のような基本問題については確実に正解を得られるように準備しておきましょう。また、高校数学では、関数や平面図形の発展が大きなウエイトを占めます。この機会に、教科書の総復習をしておきましょう。入試問題の難易度は、都立高校と同等あるいは少し易しめの問題です。したがって本校の対策は、教科書の復習と都立入試の過去問題を解くことだといえます。

社会

地理・歴史・公民分野と偏りなく出題されますが、各科目単独の問題もあれば複合問題もあります。①は3問出題される独立小問形式で、地理・歴史・公民分野からの問題。②・③は、地理分野（日本地理・世界地理）からの問題。④は歴史分野、⑤は公民分野が中心となります。⑥は各分野にまたがる形で出題されます。内容は教科書を基本とした形での出題です。

学習のポイント



難易度は教科書レベルです。基礎力をみる問題で、教科書の復習や都立高校の過去問題を繰り返し解くことが、本校の入試問題を対策する上で対策となります。出題語句のレベルは教科書に対応した形ですが、地理と歴史など複数の科目にまたがる形で出題される大問もありますので、各分野に偏ることなく学習することが大切です。記述問題は標準的な問題です。ただし、地形図や各グラフ、年表を読み取った上で解くことが必要です。普段から問題に慣れておきましょう。

理科

問題は大問6題で構成されており、さまざまな単元からバランスよく出題されます。それぞれの分野に関する基本的な内容を問うことが多く、難易度は標準的なものになっています。大問①・②は基本的な知識を問う問題が中心になっていますが、大問③・④・⑤・⑥は各単元に関する観察または実験について問うものが出題されます。

学習のポイント



都立高校入試の過去問題を一通り解いておき、苦手な単元についての復習と基本的な語句の意味を確認しましょう。また、教科書で紹介されている実験の操作や予測される結果についてまとめておき、その実験のねらいや理論などを正確にとらえておくことも重要です。選択肢から記号で答える問題が多いため、問題で問われていることを正しく理解し、それに沿った解答を導いていく能力が必要になります。与えられた問題文をじっくり読むよう心がけましょう。